

指扇小だより

学校の教育目標 **やり抜く子の育成**

かしこく やさしく たくましく あたたかく

12月号 令和4年12月1日 第8号

さいたま市立指扇小学校

〒331-0078

さいたま市西区西大宮1丁目49-6

電話 048-623-0133 FAX048-624-2200

【児童数】男子429名女子443名計872名

思考力向上 ～学習状況調査結果の検証を通して～

校長 引間 陽子

師走の12月となりました。黄金に輝く銀杏の葉が舞い落ち、木立にイルミネーションが飾られた街角は、冬本番の装いになってきています。

2学期を振り返ると、授業を基盤とし、各行事や様々な取組の場面で子どもたちが身に付けてきた力を存分に発揮し、実り多き2学期だったと感じます。

新型コロナウイルス感染症の拡大の波は繰り返していますが、学びは止めない工夫を講じながら、学校で多くの行事や取組が実施できたことは、何においても保護者や地域の皆様の御理解、御協力のおかげだと感謝いたします。4年社会科見学では、遙々、秩父へ出かけ、和紙づくり体験、秩父まつり会館や秩父神社での見学を行い、いろいろな体験を味わうことができました。1年生の遠足以来だという嬉しさから一つ一つに感動する、ちょっぴり興奮気味の子もたちが日光の3猿とひと味違う秩父のお元気3猿、北辰の鼻などを一生懸命描く様子は微笑ましく映りました。行事や取組を通して体験する学習、「リアルな学び」の重要性を感じます。



4年社会科見学

以前、教育関係の小冊子で『家庭心得』という言葉を見つけました。そこには、「教育の道は家庭の教えで芽を出し、学校の教えで花が咲き、世間の教えで実がなる」とありました。子どもたちの1年の「実り」は様々であり、どんな花が咲き、どんな実がなるか、子どもたちの成長はとても楽しみであります。素敵な種を蒔き、しっかり育てていく私たちのかかわりの大切さも感じます。

蒔く種の種類は様々ですが、「考える」機会を与えるということは素敵な種の一つだと考えます。思慮、考慮、配慮、苦慮・・・と大人の世界でも考えを巡らすことは少なくありませんが、子どもたちの世界では、この「考える」ことはもっとピュアなもので、次のステップを生み出す瞬間であり、力となるのではないのでしょうか。考える力の一つ、思考力にも注目したいと考えます。「思考力」とは、例えば、理解する／分析する／振り返る／まとめる／判断する／理由づけをする／解釈する／評価する／合意を形成する／計画する／調査する／一般化する／明らかにする／仮説を立てるなど、多種多様、多岐に渡る考える力であると捉えます。この力を育成するために、授業でも学びの過程においてP D C Aサイクル、Plan-Do-Check-Actionの振り返りのサイクルを活用していますが、学びの過程で「考える」機会の効果を価値付けていきます。

さいたま市教育委員会の令和4年度教育行政方針に『12年間の学びの連続性を生かした「真の学力」の育成』が掲げられております。知識・技能、思考力・判断力・表現力等の認知能力と、学びに向かう力やものごとをやり抜く力等の非認知能力を合わせた「真の学力」をはぐくみ、将来にわたって新たな価値を生み出す力を育成する、という内容です。取組の一つとして、さいたま市学習状況調査等の結果を活用した教育支援の充実が謳われています。

本校でも1学期に実施された「令和4年度全国学力・学習状況調査」の結果を検証し、「学力向上ポートフォリオ(学校版)」をホームページで公開しています。本校の実態を分析すると、国語や算数の勉強は好きですかの問いに肯定的な回答が全国平均を上回っていて、さらに、問題解決に向けて自分で考え、自ら取り組んでいますかの問いにも肯定的な回答が90%に到達し、手応えのある結果が得られました。一方、思考・判断・表現の項目では、国語の教科で文章の構成や書き出し方の問題や算数の教科で答えを求める考えを記述する問題では、難色を示す傾向が出ました。また、漢字や図形において無回答率が全国平均を上回る結果にもなっています。どうも「考え抜く力や思考力」の課題が見えてきたように思います。3学期始めに実施予定の「令和4年度さいたま市学習状況調査」の結果も併せて、本校の課題の一つである「思考力向上」の解決を図ってまいります。

保護者の皆様、地域の皆様、引き続き、御支援、御協力をよろしく願いいたします。